

物性と施工について

ポリカナミイタ・硬質塩ビナミイタ・FRP波板の物性と施工について

■物性データ

項目	種類	条件	ポリカナミイタ	ポリカナミイタ クロスライン	硬質塩ビナミイタ		FRP波板
					強化ナミイタS	塩ビナミイタ	
測定厚さ (mm)		—	0.7	0.7	0.9	0.8	0.8
落球衝撃		JIS A 5702 ナス型落球 2.0kg FRP波板のみ JIS A 5701 ナス型落球 1.0kg	高さ10mから落下して 割れなし	高さ10mから落下して 割れなし	高さ1.8mから落下して 割れなし	高さ1.8mから落下して 割れなし	高さ1.2mから落下して 裏面に通る穴が生じない
曲げ (mm)		JIS A 5702 スパン50cm 中央部に294Nの荷重をかけた時のたわみ量 FRP波板のみ JIS A 5701 スパン50cm 中央部に392Nの荷重をかけた時のたわみ量	65	65	30	40	27
全光線透過率 (%)		ヘーズメーターによる (JIS K 7361-1に準ずる)	90(クリア) 44(ブロンズ)	90(クリア) 44(ブロンズ)	72(クリア) 43(ブラウンスモーク)	73(クリアフロスト)	90(クリア) 69(スノーホワイト)
拡散光線透過率 (%)			1(クリア) 1(ブロンズ)	63(クリア) 39(ブロンズ)	22(クリア) 14(ブラウンスモーク)	38(クリアフロスト)	15(クリア) 52(スノーホワイト)
釘打ち		20℃	○	○	○	○	推奨しない
ハサミ切断		20℃	○	○	○	○	×

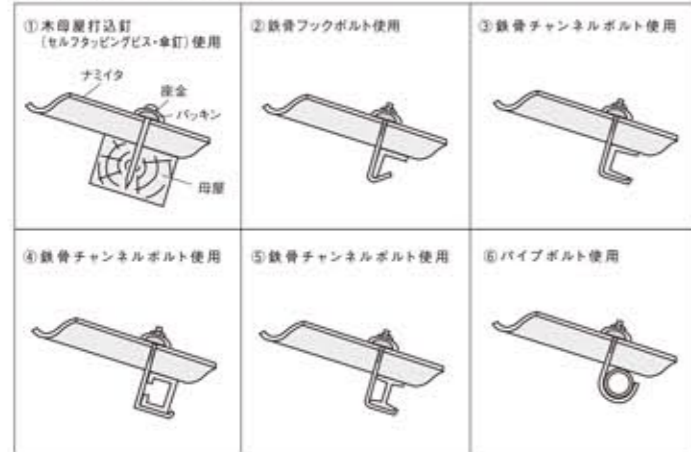
※上記値は参考値であり、保証値ではありません。

■耐候性(天然暴露試験:兵庫県たつの市)

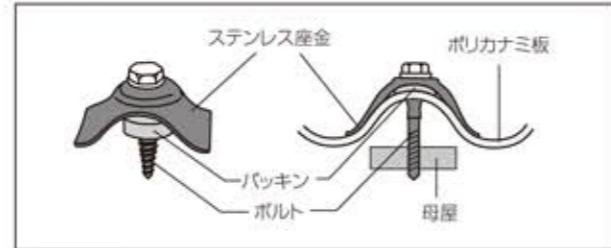
種類	経過年月	半年	1年	1.5年	2年	2.5年	3年	4年	5年
ポリカナミイタ		無	無	無	無	無	無	無	無
ガラスネット強化ナミイタS		無	無	無	無	無	無	微淡黄変	淡黄変
硬質塩ビナミイタ(鉄板小波)		無	微淡白化	淡白化	淡白化	白化	白化	白化	白化
FRP波板		無	無	無	無	無	やや黄変	やや黄変	やや黄変

※上記は試験結果であり、使用環境によっては異なります。

■取り付け方法(とめ具の種類)



■ナミジメ



■とめ具の必要本数
とめ具は5山おきにとめますので鉄板小波1枚あたり(幅方向に4カ所)×(母屋の数)を目安にしてください。
※軒先部は3~4山おきにとめてください。
(鉄板小波1枚あたり幅方向に5~7カ所)

施工方法

ポリカナミイタ・硬質塩ビナミイタ・FRP波板の施工方法



●ナミイタに直接体重を乗せると破壊し、墜落することがありますので避けてください。やむをえず上に乗る場合は、母屋のあるところにするか、踏み板を渡してください。



●内部温度が上昇する、密閉状態の場所での使用は避けてください。高温化での蓄熱により、変形する恐れがあります。
●母屋(木材、鉄骨チャンネル、パイプ等)には直射日光による蓄熱を避けるため、できるだけ白系統の色で塗装してください。なお母屋間隔は鉄板小波の場合 600mm以下で施工してください。
●寒冷時に衝撃を加えたり、切断加工は割れやすいため、ご注意ください。

1. 切断

- 器具:丸鋸または金切り鋸、ジグソー、波板鋸、板金鋸などを使用してください。
- 切断時の注意事項:片面耐候処理品は、切断してしまいますとポリカナミイタの表裏がわからなくなりますので、切断前に表裏の印を付けておくよう注意してください。丸鋸などの電動器具を使用する場合、刃形の小さいチップソーあるいはダイヤモンドホイールを使用し、切断時の振動をさけてください。

2. 穴あけ

穴あけは、ハンドドリル、電動ドリルで行ってください。熱膨張・収縮がありますので、穴は釘、ボルトの径より2mm程度大きめにあけて、周囲にキズのない穴をあけてください。穴径が小さいと熱伸縮によりクラックが入ったり、母屋間で膨らみが発生し雨漏りする恐れがあります。

3. 曲面施工

曲率半径をとることにより美しいアーチ状の曲面施工も可能です。また、長尺物を使用すれば、重ね代がなく、雨もり防止にも効果があります。

4. 屋根勾配と重ね代

■屋根勾配

	32波 (鉄板小波)	32波 広幅 (鉄板小波)	76波 (鉄板大波)	63波 (スレート小波)	130波 (スレート大波)
屋根勾配	3/10以上	3/10以上	2.5/10以上	2.5/10以上	2.5/10以上

※屋根の漏水を防ぐには雨水の排水性を維持するために、十分な屋根勾配をとる必要があります。

■流れ方向の重ね代

●ポリカナミイタ・硬質塩ビナミイタ

勾配	2.5/10	3/10	4/10	5/10
重ね代(mm)	180以上	150以上	120以上	100以上

●FRP波板

勾配	2/10	2.5/10	3/10	4/10	5/10
重ね代(mm)	200以上	180以上	150以上	120以上	100以上

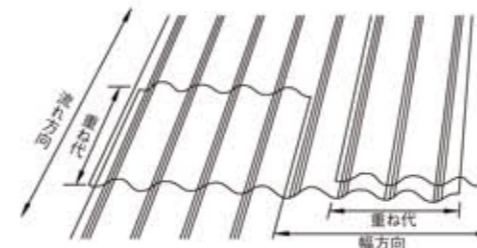
■幅方向の重ね

●ポリカナミイタ・硬質塩ビナミイタ

波型	32波 (鉄板小波)	32波 広幅 (鉄板小波)	76波 (鉄板大波)	63波 (スレート小波)	130波 (スレート大波)
重ね代(山)	2.5山以上	2.5山以上	1.5山以上	1.5山以上	1.5山以上
巻き幅 (mm)	約583	約1,024	約684 (ポリカナミイタ約684 硬質塩ビナミイタ約600)	約635	約780

●FRP波板

波型	32波 (鉄板小波)	76波 (鉄板大波)	63波 (スレート小波)	130波 (スレート大波)
重ね代(山)	2.5山以上	1.5山以上	1.5山以上	1.5山以上
巻き幅 (mm)	約583	約684	約635	約780



5. 軒先の出幅

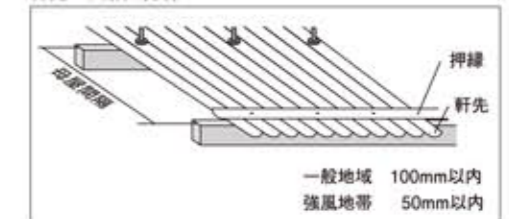
●ポリカナミイタ・硬質塩ビナミイタ

▶100mm以下
軒先の出幅を大きくすると、台風時に折り曲げによる繰り返し応力がかかり被害を受けますので、できるだけ軒先は短くしてください。

●FRP波板

▶一般地域は100mm以下、強風多雪地域は50mm以下
軒先の出幅は、風の吹き上げや滑雪により波板が破損しないように100mm以内としてください。
ただし、多雪地域や海岸沿いなどの強風地域では50mm以内とし、必要に応じて図のように押縁を使用してください。

軒先の出幅と押縁



6. 止め金

金属母屋の場合は、セルフタッピングビス及びフックボルト、木材母屋の場合は傘釘を使用してください。セルフタッピングビスは、ストッパー付きにしてください。

7. 母屋間隔

▶風の強弱、降雪量により間隔調節をしてください。

●ポリカナミイタ・硬質塩ビナミイタ

	一般用	雪国用
鉄板小波 (mm)	500~600	400~500
鉄板大波 (mm)	500~600	400~500
鉄板大波 (mm) (硬質塩ビナミイタ)	600~700	450~550
スレート小波 (mm)	600~700	450~550
スレート大波 (mm)	800~900	500~600

●FRP波板

	一般地域	強風多雪地域
鉄板小波 (mm)		
鉄板大波 (mm)	500	450
スレート小波 (mm)		
スレート大波 (mm)		

ポリカ
ボネー
/FRP
加工品

トップ
ライト

アウター
プラント

仮設資材

高圧資材

床下
物入れ

サイホン
雨どい
システム

住宅用
雨どい

非住宅用
雨どい

雨水貯留・
浸透施設

デッキ材

ぬれ縁

勝手口
ステップ

断熱材
受け

庭の流し

関連製品

図面集・
建築法規